

「消防庁舎整備計画(案)」についての住民説明会 実施結果

平成25年9月18日(水): 11名参加

平成25年9月20日(金): 14名参加

《新庁舎について》

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
1	新しい庁舎は、標高何メートルでしょうかまた、現在の消防署の標高も教えて下さい	現在の末広町の消防署は、標高6.8m海岸から1km、新しい庁舎は標高7.6海岸から4.5kmと津波の影響を受けない地域となります
2	新しい庁舎は、消防の広域化を見据えた拡張性となっていますか	消防の広域化は、平成24年5月に当面広域化しない方向で一定の整理がされています
3	2階研修室は何名くらい収容できますか	150名収容の研修室を考えています
4	東側は高層建築物がないので避難所に活用できませんか、また避難所を4階に設置する考えはないのですか	一時避難施設として利用することができます。災害が大きくなりますと緊急消防援助隊等の活動拠点となることから基本的には小中学校等の避難所を利用いただくこととなります
5	消防車の出動動線を北側ではなく西側にした理由を教えてください	北側への出動も検討しましたが、中央分離帯の開口が許可されなかったため、交通事故防止等を考慮し西側を出動動線といたします
6	多目的訓練塔の2つの塔は何でしょうか	建物は一つですが、主塔と副塔があり、はしご車訓練、消防隊の活動訓練等の複合的な訓練を行うため高さの違う2つの塔を設置します
7	ヘリポートは建物の屋上に設置できないのでしょうか	災害時は40m四方の空地があればヘリコプターは離着陸できますことから使用頻度、設置コスト等を考慮し、駐車場に併設します
8	新しい庁舎には新規の車両を配置しますか	新規の車両は予定していません
9	新しい庁舎の設置場所は、住宅地に設置できないのですか	市内に各拠点を配置し、消防車が6.5分で消火可能な体制を整備していますことから、計画地となりました
10	新しい庁舎の整備地の隣接空地を一体的に取得する計画はありますか	将来、東側の訓練施設予定地を確保する予定がありますが、その他の隣接地は民地となり確保する予定はありません

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
11	交替勤務は続けますか、また仮眠室の数は過剰ではないですか	60名程度の交替勤務職員が24時間体制を維持するため20名程度ずつ勤務することを想定していますので適正と考えます
12	新しい庁舎の整備により職員数を増やしますか	職員数を増やすことなく効率的な組織をめざします
13	新しい庁舎の耐用年数を想定していますか	通常RC構造ですと外側は、50年持ちますが30年ごろから改修が必要になると考えています
14	無線のデジタル化、高機能消防指令センターの整備により市民にどのようなメリットがありますか	消防無線はアナログ式をデジタル式に変更する事で無線の傍受がされなくなりプライバシー確保が強化されます。また、高機能消防指令センターは、119番の受付から出動までの一体的なシステムと車両のGPS管理による出動が可能となり出動車両の現場到着時間の短縮が期待できます
15	この計画(案)の整備費の他に無線のデジタル化、高機能消防指令センターの整備費が掛かりますか	この計画(案)の整備費は、庁舎、無線のデジタル化、高機能消防指令センターの整備費が全て含まれています
16	消防署が移転してくることで、騒音などはありませんか	お屋のサイレン吹鳴などが考えられますが、短時間ですので支障はないと考えています

《その他》

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
17	末広町の消防署と住吉出張所の跡地利用はどのように考えていますか、また市の中心部は大丈夫ですか	末広町の消防署を出張所とし、住吉出張所は消防団詰所として活用し、消防力を維持しますので問題ありません
18	訓練施設の防災センターはどうなっているか	消防の屋内訓練施設として、市民の皆様が参加できる体験施設等を26年度以降に検討していきます
19	防災センターはどのような体験施設を考えていますか	現在、具体的な内容は決まっていますが他市の防災体験施設と差別化を図り検討します
20	高層マンション等が増加していますが現有のはしご車で対応できますか	41m級のはしご車と救助隊が連携し救助活動等を行うこととしていますので問題ありません
21	現在の消防署には、何台の車両を配置していますか	現在の消防署には、各種消防自動車、その他、合計14台の車両を配置しています